

令和 7 年 8 月 2 6 日
こども青少年支援部母子保健担当

5 歳児健診実施検討について

1 経緯

ASD（自閉症スペクトラム症）やLD（学習障害）、ADHD（注意欠陥多動性障害）等の軽度発達障害を就学前に発見し、学童期に起こるいじめや不登校等二次的な不適応を防ぐことを目的とした「5 歳児悉皆健診」の実施について、本市では平成 20 年度からモデル健診の実施や「5 歳児健康診査実施検討会議」を設置し検討してきたが、専門医の不足等から現実的ではなく、「5 歳児発達相談」の強化を図りながら軽度発達障害の早期発見・支援をしている。令和 5 年度補正予算で新たに国が 5 歳児健診の支援事業を創設し、対象となる幼児全てに 5 歳児健康診査を実施する体制を構築するよう 5 歳児健診マニュアル等が示された。また、令和 6 年 3 月 29 日には「5 歳児健康診査の実施に当たって求められる地域のフォローアップ体制等の整備について」が国から発出された。これら国の動向も踏まえ、改めて「5 歳児健康診査実施検討会議」を開催し、「5 歳児悉皆健康診査」について、実施体制の整備や健診後のフォローアップ体制について再検討を行うこととする。

2 検討会議の概要

(1) 目的

5 歳児健康診査の実施に向けて具体的な健診実施方法を検討するとともに、庁内外の保健、医療、福祉、教育の各分野の関係者が連携し、健診後の地域のフォローアップ体制の在り方について検討を行う。

(2) 委員等構成

① 健診検討会議 年 2 回開催予定

	委員	
庁外委員	医療機関	広島市医師会 安佐医師会 安芸地区医師会
	学識経験者	広島大学病院小児科 医師（こどものこころ専門医）
	専門機関等	こども療育センター医師・こども療育センター地域支援室室長 児童発達支援センター
	保育・教育機関	広島市私立保育協会 副理事長 広島市私立幼稚園協会 理事長
庁内委員	教育委員会	指導第一課長 特別支援教育課長 健康教育課 学校安全対策担当課長
	健康福祉局	障害自立支援課長 医療政策課長
	こども未来局	幼保企画課 保育園運営指導担当課長 こども青少年支援部 障害児支援担当課長 児童相談所 第一判定担当課長
	区厚生部	保健センター医師・保健師
事務局	こども未来局 こども青少年支援部（母子保健担当）	

② ワーキンググループ 年 4 回程度開催予定

I 健診実施体制ワーキング	II フォローアップ体制ワーキング
広島市医師会 安佐医師会 安芸地区医師会 広島大学小児科医師 こども療育センター医師 地域支援室室長 児童相談所 第一判定担当課長 区厚生部（保健センター医師・保健師）	こども療育センター地域支援室室長 児童発達支援センター 私立保育協会副理事長・私立幼稚園協会理事長 教育委員会（指導第一課長・特別支援教育課長 健康教育課 学校安全対策担当課長） 障害自立支援課長・医療政策課長 幼保企画課 保育園運営指導担当課長 こども青少年支援部障害児支援担当課長 児童相談所 第一判定担当課長 区厚生部（保健師）

3 スケジュール(予定)

令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
委員の選定	5 歳児健診検討会議 研修会等 モデル健診 健診実施体制 WG フォローアップ体制 WG		5 歳児健診 開始